

令和7年度事業報告

I 概要

東北の昨年度の景気は、前年度より若干上回っていると公表されておりますが、今年度に入り、個人消費は節約志向が高まる中、安価な生活必需品を扱う小売業が堅調に推移しているものの、大雪による経済活動の停滞などで企業の景況感は下降気味となっております。

さらに中東情勢の緊迫化に伴う石油製品の値上げや供給不安があり、景気状況は大きく変わる可能性があります。

本年度の当センターに於ける状況について、ご報告いたします。

会員数は431名となり、前年度より6名増となりました。

女性会員は111名で前年より4名の微増ではありますが、「ハナミズキの会」が定期的に開催され、参加会員は毎回楽しみにしているところですが、この会への一般参加の方が増えることを期待しているところであります。

事業実績は、2億4,100万円となり、昨年度に引き続き目標達成となりました。

管理群の公民館、スポーツセンター、学校、大亀山森林公園、保育所、一般作業群の除草、清掃、サービス群の家事援助、ワンコイン事業等がそれぞれ認知されるようになってまいりました。

また、独自事業の「ギャラリーなごみ」が「公民館まつり」への出店や「100カ月×100歳TOMIYA COLLECTION（トミコレ発表会）」への参加、帯地のパソコンケース、ポーチ、車いすシートヒーターの製作受注、そして11月開催の「シルボンヌ全国大会 in みやぎ」での出店販売などで売り上げ増となっております。

安全適正就業につきましては、事故件数は10件でした。

事故件数は減少しており、大きな事故、怪我は少なかったものの、人身事故が6件であり、今後も安全な就業に十分留意することを願っております。

そして今後も月2回の安全パトロールを実施し、事故、怪我のないように努めてまいります。

次年度に向けてもセンターの知名度を上げつつ、会員一同、親切、丁寧な仕事を目指し、市民の皆さんから喜んでもらえるような取り組みを行ってまいります。

Ⅱ 令和 7 年度事業計画に掲げた目標数値と事業実績

令和 7 年度事業計画と事業実績、達成率

項 目	事業計画	事業実績	達 成 率
正 会 員	460 人	431 人	93.7%
受注件数	1,420 件	1,291 件	90.9%
受託事業	1,355 件	1,240 件	91.5%
労働者派遣事業	65 件	51 件	78.5%
受注契約金額	240,000 千円	241,363 千円	100.6%
受託事業	135,000 千円	143,296 千円	106.1%
労働者派遣事業	105,000 千円	98,067 千円	93.4%
就業延人員	44,000 人日	41,221 人日	93.7%
受託事業	24,000 人日	24,376 人日	101.6%
労働者派遣事業	20,000 人日	16,845 人日	84.2%
就 業 率	95.0%	88.4%	93.1%
粗 入 会 率	3.10%	2.81%	90.6%

※粗入会率：会員数 431 人／15,317 人(令和 8 年 3 月末 60 歳以上人口)

Ⅲ 重点項目別事業の取組

1 会員の拡大と退会の抑制

(1) 入会促進の強化と女性会員の拡大

- ① 入会説明会時に女性会員からの体験談を話してもらい、女性会員の入会促進につなげた
- ② 出張入会説明会（会場 あけの平公民館）を実施し、開催機会を増やし、入会促進を図った
- ③ WEB入会促進を図り、11件の申込があり、6人が入会した
- ④ 入会促進キャンペーンを実施し、入会促進の強化を図った
（※強化月間の10月に各公民館まつりに出向き、会員募集活動を実施）

(2) 会員の退会抑制

- ① 就業相談を随時実施した
- ② 就業情報を適時、提供した（TOMIしる通信等）
- ③ 新入会員や退会を考えている会員に休業（会費免除）制度の周知に努めた
- ④ 女性部会「ハナミズキの会」で健康教室等を企画するなどし、会員の健康維持と居場所づくりを図った

(3) センターの魅力創出を図った

- ① 女性部会「ハナミズキの会」を5回開催し、会員の交流の場を創出した

(4) センター普及啓発活動（発信）の強化

- ① ホームページやシルバーとみや、TOMIしる通信、SNS、市広報紙等各種広報媒体を活用し、センターの魅力や情報の発信を強化した
- ② シルバー普及啓発促進月間の10月に公共施設等にチラシの配架を依頼し、シルバー普及啓発に努めた
- ③ 街道まつり等の市のイベントや公民館まつり等に参加し、シルバー事業を積極的にPRした
- ④ ボランティアや地域活動に積極的に参加し、普及啓発に努めた

2 発注者との信頼関係の構築と技術等後継会員の養成

(1) 会員の拡大と人材の育成に努めた

- ① 依頼業務にしっかりと応えられるよう、会員の拡充に努めた

- ② 就業やマナーに関するフォローアップ研修会を開催した
 - ③ 職群班の班長やリーダーの研修会を開催し、人材の育成に努めた
- (2) 組織的な体制の見直し、整備を図った
- ① 会員の高齢化や人員不足の職群班、グループの実情に応じて体制を見直した
 - ② 発注者対応に相談から受注までの流れを見直した
- (3) 就業の質の向上と技能・技術会員等の後継者育成に努めた
- ① 職群別講習会を開催し、会員のレベルアップに努めた
 - ② 技能職、技術職について、後継者の養成に努めた
- (4) 営業、P R活動の強化を図った
- ① 役職員において、発注先に訪問活動を行った
 - ② 顧客満足度調査を行った
 - ③ ホームページやS N S等を通じて、センターP Rを行った

3 新たな就業機会の開拓と居場所の創出

- (1) 関係機関と連携し、求人情報等の収集に努めた
- ① ハローワークや商工会と情報交換を行った
 - ② 民生児童委員や福祉関係機関と情報交換を行った
 - ③ 近隣シルバー人材センターと連携し、情報交換を行った
 - ④ ハローワークの求人情報をチェックし、営業活動を行った
- (2) 年齢等に応じた新たな就業機会の開拓を行った
- ① 新たな就業機会開拓検討委員会の立ち上げを検討した
 - ② 会員意向調査等を行った
 - ③ 年齢等に特化した就業先を検討した
 - ④ 内職的な就業を検討した
- (3) 高年齢者の居場所の創出に努めた
- ① 女性部会「ハナミズキ」の茶話会を定期的開催した
 - ② 健康事業の取組や参加型イベントを開催した
 - ③ センター事務所に「シルバーカフェ・T O M I しる」を設置し、交流の

できる居場所を提供した

- ④ 居場所づくりにつながる独自事業等を検討した

4 安全・適正就業の推進と事故防止の徹底

(1) 安全・適正就業の徹底を図った

- ① 安全・適正就業委員会を毎月開催した
- ② 衛生委員会を毎月開催した
- ③ 適正就業ガイドラインの周知を行った
- ④ 長期同一就業の改善を行った
- ⑤ フリーランス法の周知と遵守に努めた
- ⑥ 会員へのデジタル化を推進した

(2) 安全就業と事故防止の徹底

- ① 安全パトロールを定期的を実施した
- ② 就業前の危険予知活動（KYK）を徹底した
- ③ 職群別の安全チェックシートを見直し、整備した
- ④ 各種安全講習会を開催した
- ⑤ TOMI する通信等を活用し、安全対策関係の情報発信を行った
- ⑥ 安全・適正就業推進大会を開催し、安全意識の高揚を図った
- ⑦ 安全標語の募集・表彰を行い、最優秀賞は会議室へ掲示するとともに、各会議資料等へ掲載した

(3) 会員の健康維持、増進事業を推進

- ① 衛生委員会からの健康情報などを定期的に発信した
- ② 健康診断受診の呼びかけを行った
- ③ 市や関係機関が実施する各種健康情報の案内・提供を行った

5 新たな契約方法への適切な移行

(1) フリーランス法への適合に向け、新たな契約方法へ移行した

- ① 会員に対しては smile to smile（スマスマ）やTOMI する通信により周知を行った
- ② 発注者に対してはホームページに掲載するとともに、丁寧に説明を行い適正な移行に努めた

- ③ 新たな契約方法に伴い、インボイス制度に対する的確な対応と会計処理に努めた

6 第5次中期「行動実施計画」アクションプラン2030の策定

- (1) 第4次中期「行動実施計画」を検証し、第5次中期「行動実施計画」を策定した
 - ① 策定委員会を立ち上げ、第4次中期「行動実施計画」を検証し、新たに第5次中期「行動実施計画」を策定した